

谷戸沢処分場のフクロウ2羽が無事に巣立ちました！ ～3年連続、フクロウのヒナが、日の出の森の中へ～

東京たま広域資源循環組合（管理者：多摩市長 阿部 裕行）が管理する谷戸沢廃棄物広域処分場内（東京都日の出町）の巣箱で生まれた2羽のフクロウのヒナが、新緑の森の中へ巣立ちましたのでお知らせします。

当組合では、2月28日にフクロウが谷戸沢処分場の樹林内で営巣を始め、4月3日及び4日にヒナを確認したことをお伝えしました。このヒナたちはすくすくと育ち、5月5日の夕方に1羽、8日の10時頃にもう1羽のヒナがそれぞれ巣立ったことを確認しました。

なお、フクロウのヒナたちの様子は当組合のホームページでご覧いただけます。

フクロウなどの猛禽類が営巣・子育てすることは、処分場内及びその周辺地域の生態系の豊かさを示す指標となります。これからも、当組合では鳥類や動植物のモニタリングを継続的に行うとともに、豊かな自然環境の保全・創出に努めてまいります。



今年巣立った2羽の
フクロウのヒナ
(5月5日撮影)

循環組合のホームページでは営巣したフクロウのヒナの巣立ちまでの写真を紹介しております。

◆循環組合ホームページ：<https://www.tama-junkankumiai.com/>

今年巣立った2羽のフクロウのヒナ（5月5日撮影）



ヒナたちのエサを運ぶ親フクロウ（5月5日撮影）

